

「うみねこ演劇塾」誕生！

11月、「はちのへ演劇祭」が終わりました。八戸が演劇のまちとしてふたたび活気を取り戻すべく様々な世代が参加し様々な作品がつけられた。アンケートには、今後も継続してほしいという意見が多く、実行委員として企画の段階から参加させていただいた私も、とても嬉しく思っていました。

この「はちのへ演劇祭」とほぼ同時期に演劇祭実行委員長であった征谷伸夫氏が「うみねこ演劇塾」をたちあげました。小中学生対象の「ジュニア演劇塾」60歳以上の対象の「シニア演劇塾」。これから、演劇のまちを盛り上げていくためには、様々な年代の市民が演劇をつくること、演劇することの楽しさを知り、そこから波及していったほしいという、思いが込められているはず。



ジュニア演劇塾の「ウーとスー」(絵本作家の「ウーとスー」)には小学3年生から中学2年生18名が参加していました。歌って踊る姿は、とてもイキイ



【書き手Profile】
外館 暢子
昨年10月～11月に開催された「はちのへ演劇祭」実行委員。八戸で演劇がまだ盛んだった頃を少しだけ知っていて、少しだけ懐かしいと思う年頃。

シニア演劇塾の「待合室」(作・演出 征谷伸夫)は出演した5人の皆さんでなければ演じることのできない60年生きてきたそれぞれの人生が垣間見えるような、観終つたあとにあたたかな気持ちになった作品でした。やさしくて心地よい南部弁でのセリフ回しや、どこかで聞いたことのあるような日常会話話がすうっと耳に、心に入ってきます。それは、何度も舞台を踏んだから出せるというものではなく、演じている一人ひとりの経験や歴史が自然に演技にあらわれてきたのだと感じました。

ジュニア演劇塾の「ウーとスー」(絵本作家の「ウーとスー」)には小学3年生から中学2年生18名が参加していました。歌って踊る姿は、とてもイキイキとしていました。私が知っている限り、小学校の学習発表会などの劇は、ひとつの役が1場面ごとにかわり、どちらかというと全員参加型でなかなか本格的なお芝居をする機会はありません。ひとつの役に最後まで責任を持って演じ切る。こんな経験が小中学生のうちにできたことはとても素晴らしいことなのではないでしょうか？

今回参加したみなさんには、また是非演劇に参加していただきたいと思えますし、みなさんが感じた楽しさや感動をひとりでも多くの友人・知人に伝えて欲しいと思います。

そして、「演劇のまち八戸」の活気が、新しい形で、八戸に戻ってくることを心から願っています。



Friday Amusement Negative Shop

FANS予定(991～994回)
タイトル：だべり場2013.02
構成：FANS
join-fans-info.tujb@ml.freeml.comに空メールを送ると、公演情報案内のメーリングリストに登録できます。

入場無料
自由放談

演劇空間 **スペースベン**

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、土曜日は14時～
料金：一般前売400円/高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認ください。

八戸市柏崎1-11-8 TEL: 0178-43-9876 FAX: 050-3588-8350 携帯: 080-6025-0990
HP: http://spaceben.com/ Eメール: owner@spaceben.com



このステージへGO!!

えんぶり公演

日時：2月17日(日) 13:00～16:00
〈出演団体〉石堂、青潮小、中居林小、一中、新組
2月18日(月) 13:00～16:00
〈出演団体〉大久保、白鷗小、北稜中、横町

場所：八戸市公会堂
料金：中学生以上 前売900円/当日1,000円
お問合せ：社八戸観光コンベンション協会

第7回 八戸パフォーマンス劇場



【概要】様々なジャンルの11組のパフォーマーが、溢れるパワーで私たちの街“八戸”を元気にします。ゲストは八戸市出身のダンサー「蛇澤兄弟」です。今月の読者プレゼント(P40)にもあるので、この機会にお見逃しなく！

日時：2月24日(日) 開演13:00
場所：八戸市公会堂
料金：500円
お問合せ：八戸市公会堂 ☎0178-44-7171